

件 名	ふじさんミュージアム企画展 新倉の歴史－富士山遥拝と新田開発の町－	問合せ	歴史文化課 ☎24-2411
内 容			
本展では、^{あらくら}新倉に伝来してきた古文書・絵図・写真を通して、新倉の歴史を紹介します。 富士山の麓の町である新倉地区は、南向きの斜面地が広がり日照時間も長いことから、沢沿いやかつて存在した湖周辺など水に恵まれた場所に、約1万年前から人々が暮らし始めました。江戸時代になると新倉の人々は、周辺の溶岩台地の開発を積極的に行います。そして、山向こうにある河口湖から水を引いて水田を広げるため、約4kmという全国屈指の長さを誇る「^{あらくらほりぬき}新倉掘抜」を完成させます。 また、富士山の眺望に優れていることから、富士山の遥拝地に新倉富士浅間神社を祀り、富士山の鎮火を祈願してきた歴史もあります。		日時■10月18日（土）～令和8年1月19日（月） 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで） 場所■ふじさんミュージアム 企画展示室 休館日■火曜日 ※12月2日（火）～9日（火）は、収蔵資料の燻蒸のため休館 観覧料■一般400円、小中高生200円 ※会期中は、常設展・企画展ともに市民無料です The poster features a traditional Japanese map of the Arakura region on the left, showing rivers and land. On the right, there's a photograph of a torii gate with Mount Fuji in the background. The title '新倉の歴史' (History of Arakura) is written vertically in large characters, with the subtitle '富士山遥拝と新田開発の町' (A Town of Mount Fuji Worship and Agricultural Reclamation) below it. The dates '2025 10.18' and '2026 >> 1.19' are prominently displayed in the center.	